

(別紙3)

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きすな2号館			
○保護者評価実施期間	現在、児童発達支援の利用児はいません。			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0名	(回答者数)	0名
○従業者評価実施期間	令和 10年 9月 1日 ~ 令和 10年 9月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6年 10月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	現在、児童発達支援の利用児はいません。 利用児がいると想定して、その場合、少人数でお子さまに寄り添った療育環境を提供することができます。	利用児がいると想定して、その場合、少人数で、安心できる環境を整え、お子さまや保護者様のニーズに沿った支援を考えていきます。 スタッフとの信頼関係を土台に、他者とのコミュニケーションの広がりにつないでいきます。 生活面での自立につながる取り組みを提案していきます。	
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在、児童発達支援の利用児はいません。 利用児がいると想定して、その場合、少人数、または、最初はおひとり様での利用が考えられるため、集団での療育環境を整えることができません。	土曜日利用を希望される方が多く、現在、ご希望に添えない状況です。 また、現在、児童発達支援の利用児がいないため、同世代のお子さまと一緒に過ごす環境を望まれる場合、ご希望に添えない状況です。	現在、1日の利用児数が放デイでほぼ埋まってしまっている状況です。ライフステージの変化に伴う利用の見直しなど、放デイの人数調整をしながら、児童発達支援のお子さまの利用をご案内できる様に努めていきます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 きすな2号館

公表日 令和 6年 10月 31日

利用児童数

〇名

回収数

〇

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。					・現在、児童発達支援の利用児はいません。 ・アンケートは実施しておりません。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。						
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。						
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。						
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。						
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の様相等について説明がされていると思いますか。						
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。						
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。						
	29	事業所の支援に満足していますか。						

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きすな2号館		公表日		令和 6年 10月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・活動に応じて空間を2つに分けて使用しています。 ・スペースの工夫をその都度考えています。	・引き続き行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・職員の人員基準を満たした上で支援しています。	・引き続き行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・靴や靴下の着脱、座位の保持が難しいお子さまの座る練習などに段差のある構造を活用しています。	・段差のあるコーナースペースがあります。 ・段差の角にクッション素材を貼るなどの整備をしていますが、子どもたちの目に留まりやすく、とってしまうことが多いので、より良い策を常に試行錯誤中です。 ・玄関と室内に段差がなく、靴を脱いで入室する区切りが分かりにくいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	・手洗いは衛生面を考慮し、紙タオルを使用しています。 ・2室構成となっており、普段はドアを開放し広く使っていますが、静動の遊びの違い等、必要に応じてドアを開けて分かれて活動しています。	・引き続き、清潔を心掛け環境整備を行っていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・カムダウンが必要なお子さまに対しても、2室構成を有効に活用しています。	・カムダウン室ではないので、安心して一人になれる個室を整備できていません。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2	・常にPDCAサイクルを意識しながら、必要に応じて改善しています。	・引き続き行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・アンケート結果とそれに対する返答は、お手紙でお渡ししています。 ・スタッフ間で共有し、改善に努めています。	・アンケートに対する返答の周知が難しいです。 ・ホームページなどのツールを有効に活用していけるように努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	・日々の業務時間の前後に話す機会を持っています。	・職員会議（非常勤職員を含めた）の時間の確保が難しいです。定期的に全員出勤の時間を調整できる様に努めます。 ・出席できないスタッフへは、書面や口頭で会議内容を共有しています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	・外部評価は行っていません。	・外部評価は行っていません。 ・障がい児通所支援事業者育成事業を活用し、外部の方のご意見を頂く機会を持っています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・研修やセミナーを積極的に受講しスキルアップに努めています。	・研修報告書は作成していますが、受講した研修やセミナーの内容について、事業所内で共有する時間の確保が難しいです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	4	・ホームページで公表しています。	・ホームページで公表していますが不十分な点があります。 ・公表内容の追加と、ホームページへの掲載の周知に努めます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 ・利用があれば、日々のお子さまの姿をスタッフ間で共有し、本人、保護者様のニーズをふまえて作成していきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 ・利用があれば、6ヵ月毎のモニタリングの機会に、設定した目標と具体的な支援について振り返りを行っていきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいませんが、個別のファイルをいつでも閲覧可能にしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 ・利用があれば、発達検査等の結果をふまえ、日々のお子さまの姿、相談で保護者様より聞き取った内容をもとに確認していきます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 ・利用があれば、6ヵ月毎のモニタリングで支援計画の振り返りを行っていきます。 ・設定された目標が適正か、見直しが必要か、また、設定された目標の達成に向けての具体的な支援内容について、本人、保護者様のニーズをもとに設定していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 ・利用があれば、改善点を話し合い、次に活かしていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 ・利用があれば、活動は同じ場合でも、お子さまに応じて内容を発展させていきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 ・利用があれば、作成された計画をもとに、課題解決のための目標達成に向けて活動を考え、適宜、取り組んでいきます。 ・グループに分けての活動で、個別活動の時間や空間を確保していきます。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 利用があれば、 ・活動内容や子どもの姿など、適宜、引き継いでいきます。 ・個別対応が必要な場合など、役割分担していきます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・支援終了後、または、その翌日に振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・活動日誌、連絡帳の記録を丁寧に行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 ・利用があれば、6ヵ月毎のモニタリングで支援計画の振り返りを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 利用があれば、 ・日々の子どもの姿をスタッフ全員で共有していきます。 ・担当者会議へは、児童発達支援管理責任者が代表して出席します。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 ・利用があれば、必要に応じて連携に努めます。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 ・利用があれば、必要に応じて情報共有に努めます。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 ・利用があれば、必要に情報共有、相互理解に努めます。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 ・利用があれば、必要に応じて連携に努めます。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 ・利用があれば、連絡帳や6ヵ月毎の懇談など、保護者様とお子さまの状況について共通理解に努めます。	
保護者	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 利用があれば、 ・保護者様との信頼関係を築いていけるよう、ご相談、ご要望に丁寧にお応えすることを心掛けます。 ・研修やセミナーの情報を積極的に発信していきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 利用があれば、 ・保護者様との信頼関係を築いていけるよう、ご相談、ご要望に丁寧にお応えすることを心掛けていきます。 ・研修やセミナーの情報を積極的に発信していきます。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 利用があれば、 ・6ヵ月毎に懇談の場を設け、確認していきます。 ・6ヵ月毎の懇談以外にも、必要に応じて、同様の場を設けていきます。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいませんが、丁寧な説明を心掛けます。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。			・現在、児童発達支援の利用児はいません。 利用があれば、 ・保護者様からの相談には随時丁寧な対応、助言を行っています。連絡帳で気になる記載があった場合も、状況を見ながら連絡させて頂く等、適切な対応が出来る様に努めていきます。 ・丁寧に寄り添いサポートしていきます。	

へ の 説 明 等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	・今年度は3事業所合同（きすな、きすな2号館、きすなリアン）で夏祭りを企画し、子どもたちや保護者間の交流を計画していたのですが、台風の影響で延期となり、秋に開催予定です。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・相談や申し入れがあった際には、迅速・適切に対応しています。利用者様からの意見等には、真摯に対応させて頂き、次回来所時には周知・改善を行えるように体制を整えております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・連絡帳等を活用しお子さまの姿の共有します。 ・活動の様子は、写真をLINEでお送りします。 ・季節ごとのおたよりを発行します。 ・アンケート結果とそれに対する返答は、お手紙でお渡しします。 ・今年度よりホームページの運用を開始しました。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個別ファイルで管理しています。 ・全スタッフには全ての業務上の秘密情報は、在籍中もしくは退職後も一切他に漏洩しないことの誓約書をもらっています。個人ファイルは、鍵付きの書棚に保管し管理しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・視覚支援等の活用、ツールを工夫して意思の疎通をその都度考え伝えます。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	・ホームページの運用を開始しました。	
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	・保護者様への周知について不十分ですが、各種のマニュアルは作成し、皆様に見て頂ける様設置しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・定期的に、戸外活動を兼ね避難場所まで徒歩、車での避難訓練を実施します。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・連絡帳、LINEなどの連絡ツールを活用します。 ・発作等による救急要請等が必要なケースが考えられるお子さまについては、保護者様よりお聞きした内容を職員間で共有し、体制を整え対応しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・契約時に必ず確認しています。 ・検査結果等、その都度お知らせ頂き、スタッフ間で共有していきます。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・定期的に、戸外活動を兼ね避難場所まで徒歩、車での避難訓練を実施しています。 昨年度実施の保護者様へのアンケート結果を踏まえて、天候や利用日による偏りがないよう、昨年度より、週単位で実施し、全利用児が訓練できる様改善いたしました。 避難場所については、下記の通りです。 避難場所：東深井小、水池第2公園	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・避難訓練の実施については連絡帳でお伝えします。 ・避難場所については、保護者様へのアンケート結果への返答でお伝えしていきます。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットと事故報告については各自が報告書を作成し、職員全員が回読し確認印を捺印しています。ミーティングで現状把握と対応を共有し再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・研修を受講しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	・身体拘束を要する利用者はおられません。 やむを得ず必要とする場合は手順を確認し慎重に対応していきます。	